

## 第2節 環境改善・水質関係異常事故

### 第1 水生生物調査

#### 1 目的

鳥類・魚類等の水生生物の生息状況は、河川・海域調査の理化学的・物理的な水質測定に比べより長期間の水辺環境を反映する。大田区環境基本計画で示されている基本目標D「自然共生社会の構築」では、都市化が進行した大田区において自然共生社会の実現を目指すために、水と緑の量的な確保・拡大やネットワーク化を図るとともに、「エコロジカルネットワーク」を形成する必要があるとされている。

本調査によって区内全域の水辺環境を広く体系的に調査し、絶滅危惧種や外来種の把握も行う。調査結果は、環境学習や開発時の環境保全対策を講ずるための基礎資料として活用する。

#### 2 調査時期

調査時期を表1に示す。

表1 調査時期

調査項目		調査日程
魚類・底生動物調査	晩春期	平成28年6月6日、8～9日
	夏期	平成28年7月19日～21日、29日
鳥類調査	春の渡り期	平成28年4月26日～27日
	繁殖期	平成28年6月6日～8日
	夏期	平成28年7月19日、20日、8月4日
	秋の渡り期	平成28年9月1日、2日、5日
	越冬期	平成29年1月30日、31日、2月1日

#### 3 調査方法

##### (1) 魚類・底生動物等

手網（タモ網）、投網、エクマンバージ採泥器等を使用し、採集を行った。採集した魚類・底生動物は、種名、分布状況などの記録を行い、写真撮影した。

##### (2) 鳥類

各調査地点を踏査し、目視観察及び鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数の概数などを記録した。

#### 4 調査地点

大田区内・地先の多摩川・呑川・内川・洗足池・運河海域において、委託により専門家による魚類・底生動物等調査、鳥類調査を各7地点で実施した。表2に水域ごとの調査地点と対象生物、図1に調査地点を示す。

表2 調査地点

水域	地点名	魚類・底生動物	鳥類
多摩川	①田園調布～鶉の木緑地	○	○
	②六郷橋緑地	—	○
	③大師橋緑地	○	○
	④多摩川・海老取川分岐点	○	—
呑川	⑤上流域(八幡橋付近)	○	—
	⑥中流域(養源寺橋付近)	○	—
内川	⑦四之橋～諏訪橋	○	—
洗足池	⑧全域	—	○
運河海域	⑨京浜島つばさ公園～緑道公園	○	○
	⑩呑川河口～森ヶ崎の鼻	—	○
	⑪ふるさとの浜辺公園	—	○

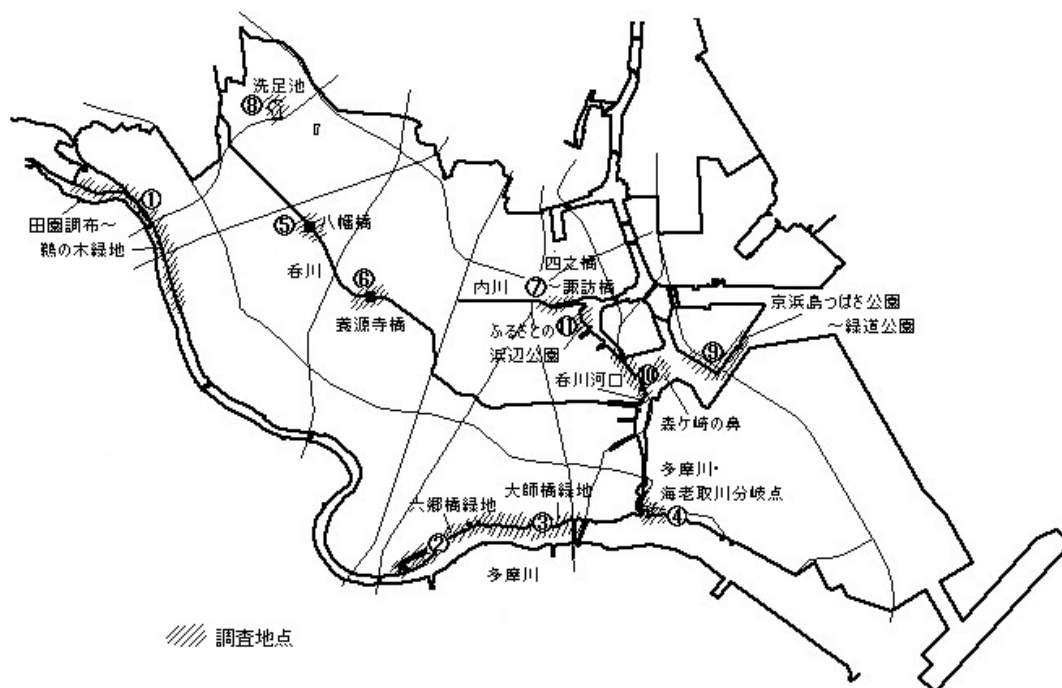


図1 調査地点図

5 調査結果

(1) 魚類・底生動物等

魚類は8目13科31種(晩春期25種、夏期20種)、底生動物は29目53科67種(晩春期54種、夏期59種)が確認された。表3、表4に確認種一覧を示す。

表3 魚類確認種一覧

	目名	科名	水域名・地点名								
			多摩川			呑川		内川	運河海域		
			田園調布～ 鶉の木緑地	大師橋緑地	海老取川 分岐点	八幡橋 付近	養源寺橋 付近	四之橋～ 諏訪橋	京浜島 つばさ公園		
確 認 種	エイ	アカエイ		アカエイ							
	ウナギ	ウナギ				ニホンウナギ					
	コイ	コイ	コイ	ウグイ属	ウグイ属	オイカワ	コイ		マルタ		
			オイカワ				ウグイ属				
			ウグイ属								
			ニゴイ属								
	ナマズ	ナマズ	ナマズ								
	サケ	アユ	アユ								
	ダツ	メダカ	ミナミメダカ								
	スズキ	スズキ		スズキ	スズキ			スズキ	スズキ		
			サンフィッシュ	コクチバス							
			タイ		キチヌ	クロダイ			クロダイ	キチヌ	
						キチヌ					
			ボラ	ボラ	ボラ	ボラ		ボラ	ボラ	ボラ	
			イソギンボ			トサカギンボ				トサカギンボ	
										イダテンギンボ	
			ハゼ	ハゼ	スミウキゴリ	トビハゼ	ミズハゼ属	スミウキゴリ		ウロハゼ	ミズハゼ属
					マハゼ	ビリンゴ	ビリンゴ			マハゼ	ドロメ
					ゴクラクハゼ	マハゼ	マハゼ			アベハゼ	ビリンゴ
	ヌマチチブ	アシシロハゼ			アシシロハゼ				チチブ	マハゼ	
					マサゴハゼ	マサゴハゼ				ヒメハゼ	
		アベハゼ			アベハゼ					チチブ	
				チチブ							
カレイ	カレイ						イシガレイ				
確認種の合計	8目13科 31種	13種	11種	13種	3種	3種	7種	13種			
		25種			6種						
確認種の合計 平成25年度	9目14科 33種	14種	4種	6種	7種	5種	9種	11種			
		17種			10種						

注1) 種名や並び順等は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト平成28年度版」に準拠した。

表 4 底生動物確認種一覧

目名	科名	水域名・地点名						
		多摩川			呑川		内川	運河海城
		田園調布～ 鵜の木緑地	大師橋緑地	海老取川 分岐点	八幡橋 付近	養源寺橋 付近	四之橋～ 諏訪橋	京浜島 つばき公園
旗口クラゲ	ミズクラゲ		ミズクラゲ	ミズクラゲ				
イソギンチャク	タテジマイソギンチャク							タテジマイソギンチャク
三岐腸	-				三岐腸目			
カサガイ	-							紐形動物門 カサガイ目
盤足	トウガタカワニナ タマキビ カワザンショウガイ					ヌノメカワニナ		タマキビガイ タマキビガイ
新腹足	アッキガイ ムシロガイ		カワザンショウガイ科					アカニシ アラムシロガイ
基眼	モノアラガイ サカマキガイ	ヒメモノアラガイ				モノアラガイ科		サカマキガイ
イガイ	イガイ		ホトギスガイ				ムラサキイガイ	ムラサキイガイ
カキ	イタボガキ		コウロエンカワヒバリガイ	コウロエンカワヒバリガイ			コウロエンカワヒバリガイ	コウロエンカワヒバリガイ
マルスダレガイ	マテガイ フナガタガイ シジミ マルスダレガイ			マガキ マテガイ			マガキ	マガキ
ウミタケガイモドキ	オキナガイ		ソトオリガイ	ソトオリガイ				ウネナントマヤガイ ウネナントマヤガイ
サンバゴカイ	ゴカイ		カワゴカイ属	カワゴカイ属			カワゴカイ属	カワゴカイ属
スピオ	ミズヒキゴカイ			ミズヒキゴカイ科				
イトゴカイ	イトゴカイ		イトゴカイ科	イトゴカイ科			イトゴカイ科	
ケヤリムシ	カンザシゴカイ			カンザシゴカイ科			カンザシゴカイ科	カンザシゴカイ科
イトミミズ	ミズミミズ	エラミミズ ミズミミズ科			エラミミズ ミズミミズ科	エラオイミズ ミミズ	ミズミミズ科	
物無蛭	ヒラタビル				ヒラタビル科	ヒラタビル科		
フジツボ	フジツボ		タテジマフジツボ ドロフジツボ	タテジマフジツボ シロスジフジツボ			タテジマフジツボ アメリカフジツボ シロスジフジツボ	タテジマフジツボ シロスジフジツボ
ヨコエビ	ユンボヨコエビ	ヨコエビ目		ヨコエビ目			ユンボヨコエビ科 ヨコエビ目	ヨコエビ目
ワラジムシ	スナウミナナフシ ミズムシ(甲) コツブムシ フナムシ		スナウミナナフシ科		ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)		
エビ	テナガエビ		シラタエビ テナガエビ ユビナガスジエビ	シラタエビ テナガエビ ユビナガスジエビ			シラタエビ テナガエビ ユビナガスジエビ スジエビモドキ	テナガエビ テナガエビ ユビナガスジエビ ユビナガスジエビ
	ホンヤドカリ							ユビナガホンヤドカリ
	アナジャコ		アナジャコ科					
	ワタリガニ						チチュウカイミドリガニ	チチュウカイミドリガニ
	コメツキガニ		チゴガニ コメツキガニ	チゴガニ コメツキガニ				イシガニ コメツキガニ
	オサガニ		ヤマトオサガニ	ヤマトオサガニ			ヤマトオサガニ	
	スナガニ							スナガニ
	ベンケイガニ		クロベンケイガニ アシハラガニ	クロベンケイガニ アシハラガニ			クロベンケイガニ	
	モクスガニ		タカノケフサイソガニ	イソガニ	モクスガニ		イソガニ	イソガニ
カゲロウ(蜉蝣)	コカゲロウ	フタバカゲロウ属		タカノケフサイソガニ	コカゲロウ科	コカゲロウ科		
トンボ(蜻蛉)	イトトンボ カワトンボ サナエトンボ	イトトンボ科 ハグロトンボ						
カメムシ(半翅)	アメンボ イトアメンボ	アメンボ イトアメンボ属						
トビケラ(毛翅)	シマトビケラ ヒメトビケラ				コガタシマトビケラ属		ヒメトビケラ科	
ハエ(双翅)	ガガンボ ユスリカ				ガガンボ科	ガガンボ科	ユスリカ科	
キヒトデ	キヒトデ	ユスリカ科			ユスリカ科	ユスリカ科		キヒトデ
種類数の合計	29目53科67種	10種	22種	20種	11種	10種	22種	28種
			38種		16種			
種類数の合計 平成25年度	13目25科32種	5種	14種	16種	3種	4種	15種	14種
			26種		6種			

注 1) 種名や種順等は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト平成 28 年度版」に準拠した。

注 2) ○○属、○○科などと表記したものについては、他種と重複の可能性がある場合は種数の合計には含めなかった。

多摩川では 25 種の魚類、38 種の底生動物が確認された。田園調布緑地は、調布取水堰上流に湛水域が形成され、湛水域の上流側には早瀬がみられる。岸際にはヨシなどの植生帯がみられる。また、大師橋緑地では広域な泥質干潟が発達し、環境省のレッドリストで準絶滅危惧に上げられているトビハゼをはじめ、ヤマトシジミやソトオリガイ、ヤマトオサガニなどの干潟生物が多数確認され、干潟に接して発達するヨシ帯はアシハラガニやクロベンケイガニの良好な生息環境となっている。河口に近い多摩川・海老取川分岐点はアベハゼなどの魚類、砂質干潟はマテガイやミズヒキゴカイ科、岩礁はトサカギンポ、ミミズハゼ属などの良好な生息環境となっている。

市街を流れる内川や呑川は、護岸の施された小規模都市河川であるが、内川では魚類 7 種、底生動物 22 種、呑川では魚類 6 種、底生動物 16 種が確認された。特に干潮時に河岸に小規模な干潟が干出する内川では比較的多くの種類が確認され、護岸に面して設置された空石積部はクロベンケイガニの良好な生息環境となっていた。呑川では確認種類数はやや少ない結果となったが、上流側の護岸の河床部に設けられた切欠きなどではニホンウナギやスミウキゴリ、モクズガニなどが確認された。

運河海域である京浜島つばさ公園付近では、魚類 13 種、底生動物 28 種が確認された。干出する砂質干潟周辺では、マルタ、ヒメハゼ、イシガレイなどの周縁性海水魚や、イシガニ、スナガニ、キヒトデなどの底生動物のほか、転石下からはハゼ科のドロメや巻貝のアカニシなどが確認された。

## (2) 鳥類

鳥類は、12 目 32 科 74 種（春の渡り期：49 種、繁殖期：32 種、夏期：32 種、秋の渡り期：39 種、越冬期：52 種）が確認された。表 5 に確認種一覧を示す。

表5 鳥類確認種一覧

○:10羽以下、◎:11~99羽、●:100羽以上

目名	科名	種名	渡り区分	水域名・地点名								
				多摩川			洗足池	運河海域				
				田園調布 ～鶴の木緑地	六郷橋緑地	大師橋緑地	全域	京浜島つばさ 公園 ～緑道公園	呑川河口～ 森ヶ崎の鼻	ふるさとの 浜辺公園		
確 認 種	カモ	ヒドリガモ	冬鳥	●	○						◎	
		マガモ	冬鳥				○		○			
		カルガモ	留鳥	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
		ハシビロガモ	冬鳥	◎				○	○	○		
		オナガガモ	冬鳥		◎	○	◎	○	◎	◎	○	
		コガモ	冬鳥	◎	◎	○		●	◎	◎	○	
		ホシハジロ	冬鳥					◎	◎	◎	○	
		キンクロハジロ	冬鳥			◎		◎	○	◎		
		スズガモ	冬鳥						●		◎	
		アヒル	外来種					○				
	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥	○	○	○	○				
			カンムリカイツブリ	冬鳥	○	○	○	○	○		○	
			ハジロカイツブリ	冬鳥		○			○			
	ハト	ハト	キジバト	留鳥	◎		○	○	○	○	○	
			カワラバト(ドバト)	外来種	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	カツオドリ	ウ	カワウ	留鳥	◎	○	◎	○	●	●	◎	
	ペリカン	サギ	ゴイサギ	留鳥		○						
			ササゴイ	夏鳥							○	○
			アオサギ	留鳥	◎	○	◎		◎	◎	◎	○
			ダイサギ	留鳥	◎	○	○		◎	◎	◎	○
			チュウサギ	夏鳥		○	○		○	○	○	○
			コサギ	留鳥	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○
	ツル	クイナ	オオバン	留鳥	●	◎	○	○	◎	◎	○	◎
チドリ			チドリ	イカルチドリ	留鳥	○						
種	タカ	タカ	コチドリ	夏鳥	○	◎	○		○			
			シロチドリ	旅・夏					○			
			メダイチドリ	旅鳥					◎	◎	◎	
			セイタカシギ	留鳥	◎	○	○		○		○	
			ダシギ	冬鳥		○						
			チュウシャクシギ	旅鳥					○			
			アカアシシギ	旅鳥		○						
			アオアシシギ	旅鳥		○	○					
			キアシシギ	旅鳥		○	○					
			イソシギ	留鳥	○	○	○		○	○	○	
			キョウジョシギ	旅鳥					○	◎	◎	
			カモメ	ユリカモメ	冬鳥	◎	●	●	◎	◎	●	◎
			ウミネコ	留鳥	○	○	◎		●	◎	◎	
			セグロカモメ	冬鳥			○					
オオセグロカモメ	冬鳥					○						
コアシサシ	夏鳥	○		○		◎	◎	●	◎			
タカ	ミサゴ	ミサゴ	旅鳥		○				○			
		トビ	留鳥	○		○		○				
		チュウヒ	冬鳥		○							
		ツミ	留鳥					○				
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	留鳥	○	○		○					
		キツツキ	留鳥	○		○	○					
スズメ	モズ	アオゲラ	不明	○								
		モズ	留鳥	○	○	○	○	○	○			
		オナガ	留鳥	○		○	◎	○	○			
		ハシボソガラス	留鳥	◎	○	○	○	○	○	○		
	シジュウカラ	ハシブトガラス	留鳥	◎	○	○	○	◎	◎	○		
		シジュウカラ	留鳥	◎	○	○	◎	○	○	○		
	ヒバリ	ヒバリ	留鳥	○								
	ツバメ	ツバメ	夏鳥	◎	○	◎	◎	○	○	○		
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	留鳥	○		○	◎	○	○	○		
	ウグイス	ヤブサメ	旅鳥				○					
	エナガ	エナガ	冬鳥	○								
	メジロ	メジロ	留鳥	○			◎	○	○			
	ヨシキリ	オオヨシキリ	夏鳥	○	○	○						
	セッカ	セッカ	留鳥	○	○			○				
	ムクドリ	ムクドリ	留鳥	●	◎	◎	◎	◎	○	◎		
	ヒタキ	ツグミ	冬鳥	○	○	◎	○	○	○	○		
		ジョウビタキ	冬鳥					○				
		イノヒトリ	留鳥						○			
	スズメ	スズメ	留鳥	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	セキレイ	ハクセキレイ	留鳥	◎	○	○		○	○	○		
		セグロセキレイ	冬鳥						○			
	アトリ	アトリ	冬鳥					○				
		カワラヒフ	留鳥	○		○	○		○	○		
	ホオジロ	ホオジロ	冬鳥			○						
		アオジ	冬鳥					○				
		オオジョリ	冬鳥									
			ホオジョロ科の一種	不明	○							
	インコ	インコ	ホンセイインコ	外来種	◎			◎				
	種類数の合計	12目32科74種			41種	40種	40種	31種	49種	37種	27種	
						59種			52種			
種類数の合計 平成25年度	14目32科68種			42種	37種	36種	23種	34種	37種	29種		
					58種			47種				

注1) 種名や種順は鳥類目録第7版に準拠した。

注2) 渡り区分は「東京都産鳥類目録 2000 自治体編 Ver.1(日本野鳥の会東京支部 2009年)」に従った。

多摩川では 59 種の鳥類が確認された。河川の水面や岸辺には、カモ類やサギ類、カモメ類、カワウ、カイツブリ、オオバンなど水辺に生息する種が多く見られ、寄洲ではセイタカシギ、アオアシシギ、アカアシシギなどが確認された。多摩川の岸際にはヨシ類などの植生帯がみられ、オオヨシキリやオオジュリンなどが生息していた。六郷橋緑地や大師橋緑地にはヨシ原に囲まれた干潟があり、メダイチドリやアオアシシギ、キアシシギ、セイタカシギ、アカアシシギなどが確認され、渡り途中のシギ・チドリ類の採餌場所となっていることが確認された。また、ミサゴ、トビ、オオタカなど広い行動圏を必要とする猛禽類も確認された。多摩川沿いの緑地では、樹林性のアオゲラ、コゲラ、エナガ、草地性のムクドリ、セッカ、モズ、ツグミなど、陸生の鳥類も多く確認された。

洗足池では 31 種の鳥類が確認された。洗足池は、40,000 m<sup>2</sup>程度の水深の浅い閉鎖性水域であり、湧水や雨水により水位が保たれている。池の北東部には水生植物園が整備されているほか、池周辺の洗足池公園には樹林が見られる。水辺に生息する種は 10 種確認された。カモ類ではキンクロハジロが最も多く、次にオナガガモが多かった。アヒルは通年確認された。樹林では、ツミの営巣が確認され、コゲラやメジロ、オナガなど、樹林や林縁に生息する種が確認された。

運河・海域では 52 種の鳥類が確認された。呑川河口や森ヶ崎の鼻の干潟周辺では、カワウや絶滅危惧Ⅱ類であるコアジサシの群れ、メダイチドリやサギ類、ホシハジロ、オナガガモ、ユリカモメなどが確認された。京浜島つばさ公園では、スズガモやキンクロハジロが多く、また中洲ではチュウシャクシギやキアシシギ、キョウジョシギなどのシギ類も確認された。ふるさとの浜辺公園の人の立ち入りが出来ない人工干潟の部分では、ササゴイやアオサギなどのサギ類やカモ類、カワウの休息場所として利用されており、夏期にはコアジサシ、冬季にはヒドリガモ、スズガモなどのカモ類が多く確認された。園内の芝生広場では、ムクドリやツグミ、ヒバリの採餌行動が確認された。

## 6 重要種の選定

魚類では 12 種、底生動物では 12 種、鳥類では 34 種が重要種として選定された。

重要種の選定にあたっては、①文化財保護法(昭和 25 年)、②絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成 4 年)、③環境省レッドリスト 2015(環境省平成 27 年)及び④レッドデータブック東京 2013(東京都環境局平成 25 年)を基準とした。

重要種の選定基準及びカテゴリー・略称を表 6、魚類・底生動物の選定結果を表 7、鳥類の選定結果を表 8 に示す。

表6 重要種の選定基準及びカテゴリー

No.	選定基準 及び カテゴリー
①	文化財保護法(昭和25年 法律第214号) ・特天：特別天然記念物 ・天：天然記念物
②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年 法律第75号) ・国内：国内希少野生動植物種 ・国際：国際希少野生動植物種 ・緊急：緊急指定種
③	環境省報道発表資料 環境省レッドリスト2015(環境省 平成27年) ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 ・CR：絶滅危惧ⅠA類 ・EN：絶滅危惧ⅠB類 ・VU：絶滅危惧Ⅱ類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群
④	レッドデータブック東京 2013 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 解説版(東京都環境局 平成 25 年) ※「区部」に該当する種を選定 ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 ・CR：絶滅危惧ⅠA類 ・EN：絶滅危惧ⅠB類 ・VU：絶滅危惧Ⅱ類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ・留意：留意種

表7 重要な魚類・底生動物の選定・区内分布

	種名	分布域	選定基準	
			環境省レッドリスト2015	レッドデータブック東京2013
1	ニホンウナギ	八幡橋付近	EN	VU
2	マルタ	京浜島つばさ公園		留意
3	ナマズ	田園調布～鶉の木緑地		留意
4	ミナミメダカ	田園調布～鶉の木緑地	VU	CR+EN
5	トビハゼ	大師橋緑地	NT	CR
6	ビリンゴ	大師橋緑地、多摩川海老取川分岐点、京浜島つばさ公園		NT
7	アシシロハゼ	大師橋緑地、多摩川海老取川分岐点		留意
8	マサゴハゼ	大師橋緑地、多摩川海老取川分岐点	VU	VU
9	ヒメハゼ	京浜島つばさ公園		NT
10	アベハゼ	大師橋緑地、多摩川海老取川分岐点、四之橋～諏訪橋		NT
11	ヌマチチブ	田園調布～鶉の木緑地		留意
12	チチブ	多摩川海老取川分岐点、四之橋～諏訪橋、京浜島つばさ公園		留意
13	ウネナシトマヤガイ	四之橋～諏訪橋、京浜島つばさ公園	NT	EX
14	ヤマトシジミ	大師橋緑地、多摩川海老取川分岐点	NT	留意
15	シラタエビ	大師橋緑地、四之橋～諏訪橋		留意
16	テナガエビ	大師橋緑地、四之橋～諏訪橋、京浜島つばさ公園		留意
17	ユビナガスジエビ	大師橋緑地、多摩川海老取川分岐点、四之橋～諏訪橋、京浜島つばさ公園		留意
18	チゴガニ	大師橋緑地、多摩川海老取川分岐点		留意
19	コメツキガニ	大師橋緑地、多摩川海老取川分岐点、京浜島つばさ公園		留意
20	ヤマトオサガニ	大師橋緑地、多摩川海老取川分岐点、四之橋～諏訪橋		留意
21	クロベンケイガニ	大師橋緑地、四之橋～諏訪橋		留意
22	アシハラガニ	大師橋緑地		留意
23	モクズガニ	八幡橋付近		留意
24	ハグロトンボ	田園調布～鶉の木緑地		VU
計	24種	-	6種	24種



表8 重要な鳥類の選定・区内分布

No.	種名	分布域	選定基準		
			絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律	環境省レッドリスト2015	レッドデータブック東京2013
1	スズガモ	京浜島つばさ公園～緑道公園、ふるさとの浜辺公園			留意
2	カイツブリ	田園調布～鶯の木緑地、六郷橋緑地、大師橋緑地、洗足池			NT
3	カンムリカイツブリ	田園調布～鶯の木緑地、大師橋緑地、洗足池、京浜島つばさ公園～緑道公園、呑川河口～森ヶ崎の鼻			留意
4	ササゴイ	呑川河口～森ヶ崎の鼻、ふるさとの浜辺公園			CR
5	ダイサギ	洗足池除く各地点			VU
6	チュウサギ	六郷橋緑地、大師橋緑地、京浜島つばさ公園～緑道公園、呑川河口～森ヶ崎の鼻		NT	VU
7	コサギ	全ての地点			VU
8	オオバン	全ての地点			VU
9	イカルチドリ	田園調布～鶯の木緑地			DD
10	コチドリ	田園調布～鶯の木緑地、六郷橋緑地、大師橋緑地、京浜島つばさ公園～緑道公園			VU
11	シロチドリ	京浜島つばさ公園～緑道公園		VU	VU
12	メダイチドリ	京浜島つばさ公園～緑道公園、呑川河口～森ヶ崎の鼻、ふるさとの浜辺公園	国際		NT
13	セイタカシギ	六郷橋緑地、大師橋緑地、京浜島つばさ公園～緑道公園		VU	EN
14	タシギ	六郷橋緑地			VU
15	チュウシャクシギ	京浜島つばさ公園～緑道公園			VU
16	アカアシシギ	六郷橋緑地		VU	EN
17	アオアシシギ	六郷橋緑地、大師橋緑地			NT
18	キアシシギ	六郷橋緑地、京浜島つばさ公園～緑道公園、呑川河口～森ヶ崎の鼻			VU
19	イソシギ	洗足池を除く各地点			VU
20	キョウジョシギ	京浜島つばさ公園～緑道公園、呑川河口～森ヶ崎の鼻、ふるさとの浜辺公園			VU
21	コアジサシ	田園調布～鶯の木緑地、大師橋緑地、京浜島つばさ公園～緑道公園、呑川河口～森ヶ崎の鼻、ふるさとの浜辺公園	国際	VU	EN
22	ミサゴ	六郷橋緑地、京浜島つばさ公園～緑道公園、呑川河口～森ヶ崎の鼻		NT	EN
23	トビ	田園調布～鶯の木緑地、大師橋緑地、京浜島つばさ公園～緑道公園			NT
24	チュウヒ	六郷橋緑地		EN	EN
25	ツミ	洗足池			CR
26	オオタカ	田園調布～鶯の木緑地	国内	NT	CR
27	カワセミ	六郷橋緑地、洗足池			VU
28	アオゲラ	田園調布～鶯の木緑地			EN
29	モズ	ふるさとの浜辺公園を除く各地点			VU
30	ヒバリ	田園調布～鶯の木緑地			VU
31	オオヨシキリ	田園調布～鶯の木緑地、六郷橋緑地、大師橋緑地			VU
32	イソヒヨドリ	呑川河口～森ヶ崎の鼻			DD
33	セグロセキレイ	京浜島つばさ公園～緑道公園、呑川河口～森ヶ崎の鼻			VU
34	オオジュリン	六郷橋緑地、大師橋緑地			NT
計	34種	-	3種	8種	34種

## 7 まとめ

魚類は8目13科31種、底生動物は29目53科67種、鳥類は12目32科74種が確認された。平成28年度の魚類と鳥類の種数は、平成25年度調査の魚類33種、鳥類68種と、あまり変わらなかった。底生動物の確認種数は、平成25年度調査の32種から67種と大きく増加した。一般的に環境指標性が高いとされる底生動物が増加していることから、近年は環境がより安定していた可能性が考えられる。

多摩川・運河海域では水域のほか干潟やヨシ帯など、水生生物の生息環境として、多様で良好な環境が整備されていることを確認できた。内川や呑川の上流部でも生物の生息に配慮した環境が整備され、重要種を含む水生生物が確認された。また、洗足池ではツミの営巣が確認されるなど31種の鳥類が確認された。

以上のことから、区内の水辺環境は、多様性が維持されていることが確認された。今後も現状の環境を維持し、さらに人にも水生生物にもより豊かな環境が構築されることが望まれる。しかし、再開発や改修工事等により水辺環境は常に変化するため、重要種を中心とした水辺環境の変化が現れる水生生物の生息状況を把握し、調査を充実させていく必要がある。